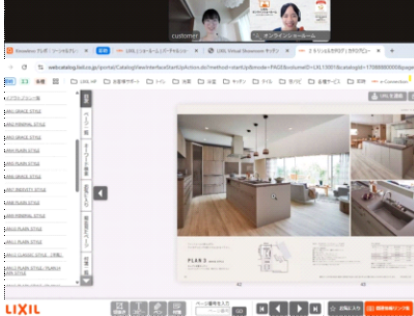


受賞企業の主な取組

企業名	主な取組	
ぜんち共済株式会社 ・保険業 ・従業員数 29人 (うち障害者数 2人)	・知的障害者を2名(うち重度障害者が1名)を雇用し、各部署の担当者が直に障害当事者とコミュニケーションを取り、密接に連携しながら業務を行っている。 ・障害者の業務を支援するチームを、毎年社員が入れ替わりで担当し、全社員が社内横断的に障害者雇用に参加する社風が形成されている。	
株式会社ニッスイ ・食料品製造業 ・従業員数 2,702人 (うち障害者数 73人)	・障害者の集中配属先であるビジネスチームでは、多様な経験や教育機会を通じて成長を支援し、他部署へ人材を輩出するキャリア形成の仕組みを確立している。 ・全社の8割超の部署で障害のある社員が働き、協働の中で多様な力を活かし合い、成長できる職場づくりを進めている。	
まいばすけっと株式会社 ・小売業 ・従業員数 4,167人 (うち障害者数 199人)	・複数の店舗で品出し業務等を行う『キャラバン隊』をはじめとした、障害者主体の業務チームを結成し、店舗の売上向上に大きく貢献している。 ・『キャラバン隊』のチームのうち約半数に障害者がリーダーとして在籍し、更にそこから正社員登用された社員は、マネジメント側に回るなど、障がい者の新しいキャリアパス像も示している。	
株式会社マネーフォワード ・情報・通信業 ・従業員数 1,874人 (うち障害者数 54人)	・障害者雇用について、支援ポリシーを公開の上、各々の特性に合わせた段階的なキャリアアップを制度化することで、キャリア形成と高い定着率を両立させている。 ・バックオフィスの管理から、業務自動化による業務改善や、社内でのAIの活用推進など様々な業務を障害者が担う。	
株式会社LIXIL Advanced Showroom ・サービス業 ・従業員数 1,163人 (うち障害者数 34人)	・障害者が一般部署で他の社員と一緒に働きながら、個人の特性を活かせる様々な業務にチャレンジできる環境を整えている。 ・実店舗(ショールーム)の業務をオンライン上でも行えるよう、オンラインショールームを設け、障害者がテレワークで実店舗と変わらない接客・提案業務を行う。	

※従業員数(うち障害者数)は、管轄の公共職業安定所提出の障害者雇用状況報告書(令和6年6月1日時点)の状況等に基づく

各企業の取組詳細はホームページ「TOKYOはたらくネット」をご覧ください。
 →<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/shogai/shien/award/award25.html>

